

2024 SUMMER 近場が穴場! 東住吉区で夏を楽しもう!



スタート!

第1展示室 身近な自然

都会、海岸、里山。身のまわりにある自然の現状を見つめてみましょう。



ヌートリア

外来生物。希少種の大型三枚貝を捕食してしまうので、大きな問題となっています。



里山の自然

クロコブリの拡大模型(10倍)



タネを作ることができない植物

花が咲いたら実ができて、その中には種子がある...というのが普通ですが、身近に見られる植物の中には、種子を作ることができないものがあります。例えば、夏に花をつけるヤブカンゾウがそれです。DNAが含まれる染色体は通常2セットあり、これが減数分裂をすることによって配偶子(卵や精子)が作られます。ヤブカンゾウは染色体が3セットあり、減数分裂がうまくいかず、配偶子が正常に作られないのです。でも地下茎でどんどん増えて、田んぼ周りなどで普通に見ることができます。



植物研究室 長谷川 匡弘 学芸員

第3展示室 生命の進化

地球上のさまざまな生き物の体のつくりやくらしから進化について考えます。



フクロウの顔

フクロウの顔のよつね模様で天敵の鳥を驚かすんやっ!

オランウータンの骨格

ゴリラの骨格

世界各地の昆虫の標本



第4展示室 自然のめぐみ

私たちの生活は自然のめぐみにやさえられています。



食用植物の模型

ハンガーのできたカラスの巣

もともとカラスは木の枝で巣をつくらす。しかし、街中のカラスはしばしば人工物を巣材に利用します。なかでもお気に入りには、むかしクリーニングに出したついでに針金ハンガーです。いまクリーニングに出すと、プラスチック製のハンガーがついてきますが、いまでもカラスに人気なのは針金ハンガー。物干しにぶら下がっているのを拝借してくるようです。周囲に針金ハンガーが多いと、このようにほぼ針金ハンガーだけでできた巣をつくらす。

動物研究室 和田 岳 学芸員

ハチのオスは刺さ(せ)ない

黄色と黒のしま模様のスズメバチ。いかにも危険そうな見た目ですが、なかには指でつまんでも大丈夫なものもいます。それはオスのハチ。実はハチの針は卵を産むための管が変形したものでメスにしかありません。オスは刺さるにも刺せないのです。そんなオスもつまむとお腹を曲げて、まるで針で刺すかのような動きをします。危険なメスを真似ることで、武器のないオスでも身を護ることができるよう。危険なのでみんさんは真似しないでね。

昆虫研究室 松本 吏樹郎 学芸員

カエシタケ



猛毒を持つキノコ。食べるのも触るのも絶対にNG。

大阪市立自然史博物館

「自然と人間」をメインテーマに、動物、植物、昆虫、岩石、化石などを中心に約一万数千点の標本を展示しています。展示はそれぞれのテーマに分かれており、身近な自然から地球の歴史まで、人と自然の関わりを紹介しています。また、定期的に開催される特別展のほか、野外での自然観察会や、博物館内の講演会、ワークショップなど、さまざまな行事を実施しています。

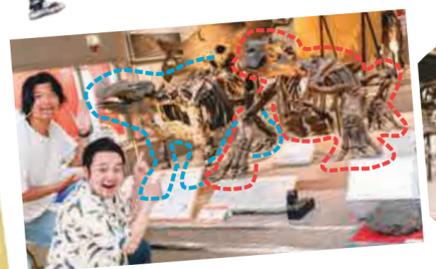
☎ 06-6697-6221 ☎ 06-6697-6225

料金 大人/300円 高大生/200円 中学生以下/無料



第2展示室 地球と生命の歴史

現在に近い時代から大昔へと時代をさかのぼるように展示が作られています。



三葉虫の化石、実はだっぴがらかも?

三葉虫は絶滅した節足動物(エビ、クモ、昆虫などの仲間)です。背側の石灰質の殻はかたく、よく化石になって残ります。節足動物はだっぴをして成長しますが、その多くは、だっぴがらに栄養が残らないようにうすくするなど様々な工夫をしています。三葉虫は、そうした工夫をせずに厚くかたいだっぴがらを残しました。そのため、だっぴがらも化石になって残ることが多く、三葉虫の成長について調べるのに役立っています。

地史研究室 前川 匠 学芸員

実際に行ってみよう

デモスチルスの骨格

研究が進むにつれて、骨格標本の組み立て方も変わります。左が1930年代のもの、右が1980年代の復元したものです。



マチカネワニの骨格

「大阪府の石」って何か知っていますか?

2016年に日本地質学会は、全国47都道府県について、その県に特徴的に産出する、あるいは発見された岩石・鉱物・化石をそれぞれの「県の石」として選定しました。その中で「大阪府の石」は、「和泉石(和泉青石)」「ドーソン石」「マチカネワニ」が選ばれており、いずれも自然史博物館で展示されています。「和泉石」は後期白亜紀の和泉層群に産する砂岩を元とした石材です。「ドーソン石」は和泉層群の中から見つかる鉱物です。「マチカネワニ」は豊中市から見つかった日本で初めてのワニ類の全身骨格化石です。

第四紀研究室 中条 武司 学芸員

今年の夏も面白かったね!

夏はこれからや!



特別展「ネコ」 ~にゃんと!クールなハンターたち~

現在、41種の野生ネコ科動物が地球上の多様な環境に適応し、さまざまな生き物と関わり合っています。本展では、ライオンやマヌルネコなどのクールでカッコいい野生ネコ科動物から身近なイエネコまで、ネコ科動物がもつ魅力に迫ります。

日程 7月13日(土)~9月23日(月)まで
料金 大人1,800円(1,600円)、高大生1,500円(1,300円)、小中生700円(500円) ※()内は7月12日(金)までの前売り料金

詳しくはこちら



博物館をもっと楽しもう!

たんけんノート

書かれたテーマをもとに、博物館の中を探検できます。じっくりと展示を見て楽しんでね。小中学生がチャレンジできて4種類あります。

キッズパネル

小さなお友だちにもわかるようなやさしい解説です。

さわってみようパネル 手で触ることができる展示です。



黒水晶

ほかにもこんな楽しい場所が!

長居植物園 ☎ 06-6696-7117 ☎ 06-6696-7405

開園50周年記念事業「プレひま」

大阪市内でひまわり畑を楽しむイベント、「長居植物園 ひまわりウィーク(8月3日~18日)」に先駆けて、園内にひまわりが!!その名も、「プレ」ひまわりウィーク!元気いっぱい咲き揃うひまわりが夏の花壇を彩ります♪夏の暑さが本格的になる7月、長居植物園で夏の風物詩をご堪能ください。

日程 7月23日(土)~8月2日(日)まで ※7月29日(月)は休園 時間 9:30~17:00(入園は16:30まで) 料金 大人/300円(入園料)



長居プール ☎ 06-6609-1580 ☎ 06-6609-2335

今年の夏から屋外プールを営業再開します!

屋外プールでは、大きな遊泳用プールのほか、ウォーター滑り台も楽しむことができます♪

日程 7月6日(土)~9月5日(日)まで 時間 9:00~17:00 料金 子ども(16歳未満)・高齢者(65歳以上)/150円 大人/400円



問 総務課 5階53番 ☎ 06-4399-9683 ☎ 06-6629-4533

